

# 中期経営計画 (平成25年3月期～平成27年3月期)

---

平成24年5月16日

株式会社ソフトフロント  
(コード番号:2321)

この資料に記載されている、当社の現在の計画、見通し、戦略などのうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しです。将来の業績に関する見通しは、将来の営業活動や業績、出来事・状況に関する説明における「期待」、「計画」、「見込み」、「予測」、「予想」、「可能性」やその類義語を用いたものには限定されません。口頭または書面による見通し情報は、広く一般に開示されるほかの媒体にも含まれる可能性があります。これらの情報は、現在入手可能な情報から得られた当社の判断にもとづいています。実際の業績は、様々なリスクや不確実な見通しのみで全面的に依拠することはお控えいただけますようお願いいたします。

# 経営基本方針

- ◆ 当社のSIP技術をデファクトスタンダードにする
- ◆ ソフトウェアの**ライセンスビジネス**を成功させる

# 前事業年度(平成24年3月期)の総括

## ◆計画の達成状況、成果

- 平成22年5月14日発表の「中期経営方針」の2年目として事業を展開
- 重点課題「収益基盤拡大」として、NGN関連分野が拡大、複合機メーカー向け分野も堅調であったものの、電機メーカー向け売上が減少し前年度から1.3%の減収
- 重点課題「黒字体質への転換」として、全般的な経費削減に努めたものの、前半好調時の高稼働分を後半で調整しきれず、営業損失計上。

# 中期経営計画の概要及び策定の背景

## ◆概要

- 電機メーカー向け売上の減少により平成24年3月期は減収となったものの、SIP関連市場の動きに落ち込みはないため、平成22年5月14日発表の「中期経営方針」を踏襲。
- 「中期経営方針」後となる平成26年3月期以降も同様に事業拡大を図るが、その具体的な経営計画については次期「中期経営方針」にて策定する。

## ◆策定の背景

「収益基盤の拡大」としての収益事業分野を育てることに関して、有望な分野への展開も引き続き見込まれることから、継続的に取り組む。

「黒字体質への転換」として取り組んだ柔軟な費用構造への転換は、期の後半への対応時期により成果が不十分であったものの、全体的には効果的な構造であったため、この構造を維持進展させる。

# 事業の進捗状況及び今後の見通し

## ◆事業の進捗状況及び今後の見通し

- 電機メーカー向け売上が減少したものの、NGN関連分野や複合機メーカー向け分野等が好調であり、SIP関連市場自体は落ち込みはない。
- スマートフォン関連分野の拡大やNGNのサービス拡大により収益拡大を見込む。
- 平成24年3月期業績(実績)  
売上高773百万円  
営業損失13百万円、経常損失16百万円、当期純損失18百万円
- 平成25年3月期業績予想(今後の見通し)  
売上高770百万円～850百万円  
営業利益3百万円～40百万円、経常利益3百万円～40百万円、  
当期純利益0百万円～35百万円

# 重点課題

基本方針「ライセンスビジネスの成功」に向けて、中期的に以下の課題に重点的に取り組んでまいります。

## ■ 収益基盤拡大

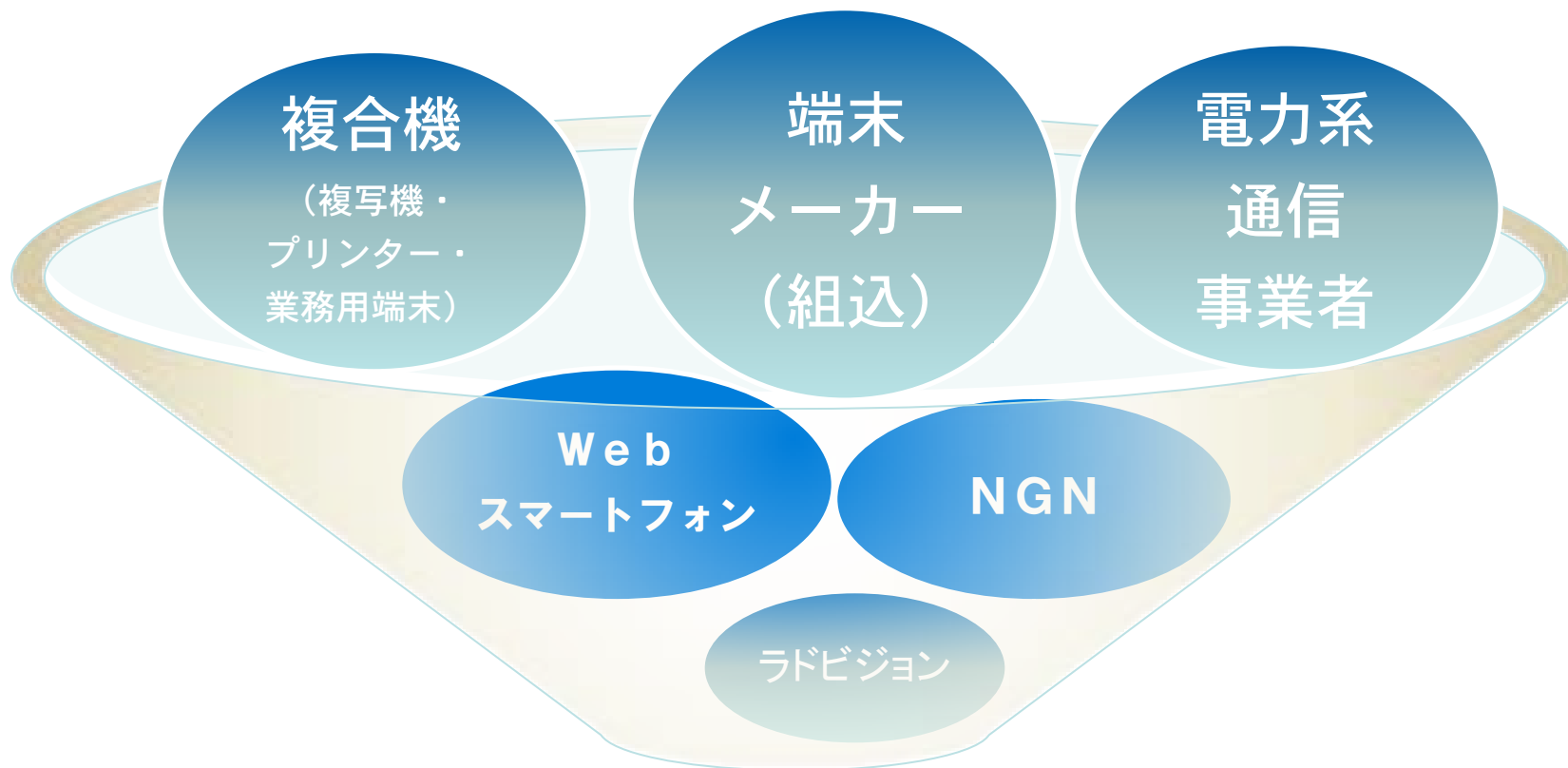
- 安定した収益を確保できる分野の創出、拡大
- ➔ 期末納品特性とは異なる分野の創出拡大で業績の安定化を図る
- ライセンスビジネスに重点をおいた事業展開
- ➔ 量産ライセンス対象機器を増やし業績の安定化を図る

## ■ 黒字体質の確保

- 転換を果たした、黒字が確保できる柔軟な費用構造の維持進展
- ➔ 変動に対する対応の早期化で業績の安定化を図る

# 収益基盤拡大

## ソフトフロントが進める各事業分野



**S I P を中心とした先端技術**

## 収益の根幹となる分野

### 端末メーカー (組込)

- ・ 優れた相互接続性
- ・ 各通信事業者への接続実績
- ・ 多様な分野での採用実績



### 複合機 (複写機・プリンター ・ 業務用端末)

- ・ IP FAX通信規格の開発ノウハウ
- ・ NGN網への接続実績



### 電力系 通信事業者

- ・ 長年の取引による技術ノウハウ
- ・ システム構築実績





## 今後成長していく分野

NGN

- ・ NTTのフレッツ 光への接続ノウハウ
- ・ NTTグループとの協力関係



Web  
スマートフォン

- ・ 最先端のWEBテクノロジー
- ・ 基幹業務系システム開発、画像処理に強み



ラドビジョン



# 新たな取り組み — デジタル郵便事業 「LiveCard」

あの人へ、  を送ろう。



モバイル端末から手紙が送れる。 **LiveCard**    お客様へPCからDMが送れる。 **LiveCard DM**    カードを添えてギフトが贈れる。 **LiveCard GIFT**

 Myレター    **LiveCard**

大切な方々へ、   を送ろう。



モバイル端末から手紙が送れる。 **LiveCard**    お客様へPCからDMが送れる。 **LiveCard DM**    カードを添えてギフトが贈れる。 **LiveCard GIFT**

 Myレター    **LiveCard**

- ◆PC・スマホ等の端末から「投函」するイメージで、手紙やはがきが届く事業
- ◆個人向けレターサービス  
「LiveCard」が 2011年12月、  
法人向けダイレクトメールサービス  
「LiveCard DM」2012年2月に開始
- ◆法人向けギフトサービスを今後展開する予定。

## 黒字体質の確保

これまでの取り組みによって転換した柔軟な費用構造を、維持進展させます

- ソフトウェア利益率の向上
- 外注加工費の流動化
- 業績連動給
- 固定費削減



## ■ ソフトウェア利益率の向上

ソフトウェア開発の効率化を図るとともに、一部のソフトウェア資産の評価を見直し資産のスリム化を図ってきました

⇒引き続きソフトウェア資産の管理を徹底し、減価償却負担を適正化することによって、ソフトウェア利益率を向上させます。

## ■ 外注加工費の流動化

一部定常的に委託していた外注作業の内製化を進め、固定的な外注加工費を減少させることにより、外注加工費の流動化をさらに進めます。

## ■ 業績連動給

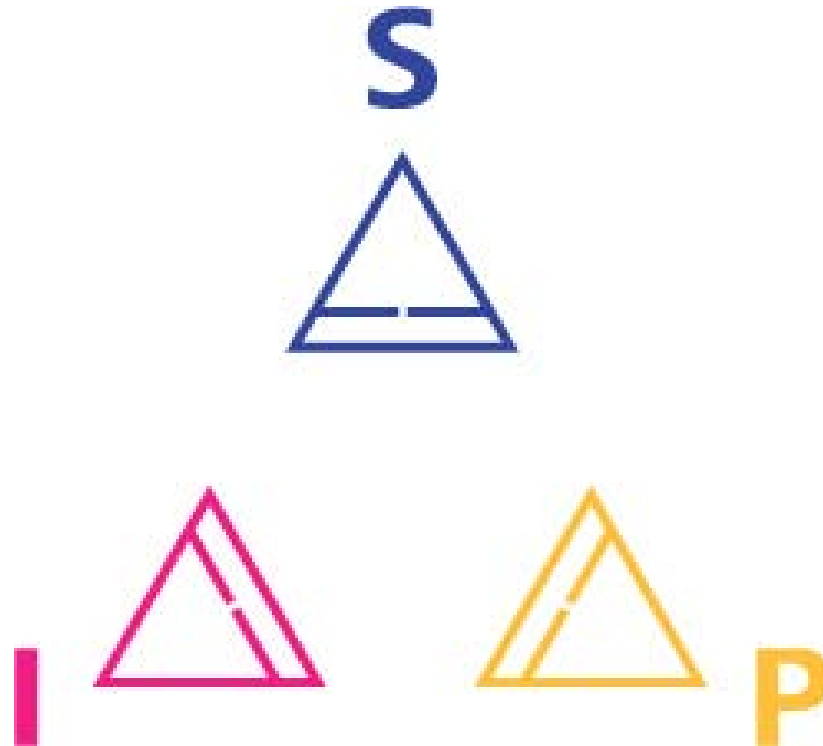
平成23年3月期で完全移行した業績連動型賞与制度を適正に運用し、人件費の一定割合が業績の変動に対応できるようにしてまいります。

## ■ 固定費削減

間接部門体制の見直しや、多岐にわたる販売管理費削減の取り組みにより、固定費を削減してきました

⇒無駄な支出を防ぎ、効果的な運用を継続させてまいります。

# *SIP connects the future*



**ソフトフロントは SIP 技術を中心に  
社会変革の牽引役となり、豊かな社会を実現します**